

SET-UP 植え替えの手順



1 接ぎ木から3年が経過したゴヨウマツ。屈曲した部分は台木。



2 勢いよく上方向に伸びた枝の先端をカット。横方向に伸びる枝を残します。



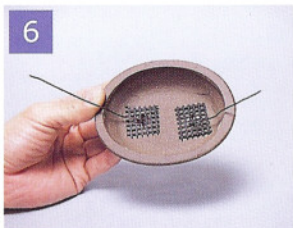
3 込み入っている枝も剪定し、葉の量も少なく調整。



4 鉢から取り出し、鉢内に広がる根を処理します。半分から1/3程度切り落とします。



5 太根を幹に見立てるため、針金を巻いて樹形をつくります。



6 植え替えの準備を開始。鉢底にネットをのせ、内側からV字の針金を通し鉢裏で曲げて固定します。



7 鉢裏から長めの針金を2つの穴に通し、木を固定する針金を出しておきます。



8 鉢底にゴロを敷きます。



9 ゴロの上に基本用土・赤玉土8、桐生砂2、竹炭を1割くらい混ぜます。



10 植えつけ角度をみながら根元を針金で固定します。



11 ヘラで表土をならします。押しつけるようにして土がこぼれないように。



12 これで植え替えは完了。水をたっぷり与えたら、日当たりのよい屋外で管理します。(樹高12cm)

AFTER 春以降の経過



1 8月上旬。植え替えした4月から強い芽はこまめに摘み取っています。



2 外見はほとんど変化がありませんが、やや葉が密になりました。茶色になった古葉は手で落とします。



3 10月下旬。2カ月前と見た目はほとんど同じです。葉量の多いところは葉すかしをします。

ONE POINT ADVICE

剪定は休眠期または春の植え替え時に。生長期に幹や枝を傷つけると、ヤニが出て汚くなります。3つ以上ある芽は中心部の芽を切り、左右の2つを残します。不要枝も二股になるよう想定して剪定します。